

科目名		ビジネススキル 1						年度	2025	
英語科目名		Career Design 4						学期	後期	
学科・学年		CG映像科 1 年次	必／選	選	時間数	30	単位数	2	種別※	講義
担当教員		神野 秀美		教員の実務経験		有	実務経験の職種		キャリアコンサルタント	
【科目の目的】 この授業では社会に出るために必要なコミュニケーションスキルを身につけることを目標とする。 自己分析を行い、自己発見・自己改革をし、社会人になるための基礎がためができてる状態になる。 モチベーションマネジメントができるようになる。										
【科目の概要】 自己分析とマインドセットのための講義と実践形式のプログラムを繰り返し実施する。用意されたシートに講義を聴きながら記入し、理解したところで実際にロールプレイングを行う。理解度を測る他、コミュニケーションスキル向上確認のためのグループワークや発表も行う。										
【到達目標】 A. 自己理解がしっかりとできている B. 自己分析ができ、自ら思考し、改善点を設定できる C. モチベーションマネジメント理解し、自ら行動することができる D. 自身のプレゼンをし周囲に理解してもらえる										
【授業の注意点】 授業時限数の4分の3以上出席しない者は定期試験・評価課題を受験することができない 教員の指示がない限り、授業と関係のない携帯電話・スマートフォンの使用を認めない										
評価基準＝ルーブリック										
ルーブリック 評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力					
到達目標 A	俯瞰で自分を見ることができる		自己理解ができている		自己理解が困難					
到達目標 B	自己発見から自己分析ができ、改善できる		自己発見から自己分析ができる		自己分析が困難					
到達目標 C	モチベーションマネジメントの知識があり、マネジメントできる		モチベーションマネジメントの知識がある		モチベーションマネジメントの理解が困難					
到達目標 D	自身のプレゼンをし、周囲に自身を的確に理解してもらえる		自身のプレゼンができる		自身のプレゼンができない					
到達目標 E										
【教科書】										
【参考資料】										
【成績の評価方法・評価基準】 試験・課題 80% 課題で評価する（提出の仕様や期限も評価の対象とする） 平常点 20% 授業参加態度によって評価を行う										
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。										

科目名		ビジネススキル 1			年度	2025
英語表記		Career Design 4			学期	後期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	自己変革	自己変革について理解する	1 自己改革の理解	自己改革のための知識を理解する	2	
			2 自己改革の方法	自己改革のための方法を理解する		
2	自己変革	社会人になる前提としての意識を持ち始める	1 社会人になる前提	社会人になる前提を理解する	2	
			2 社会人になる意識	社会人になるマインドセットをする		
3	自己分析	自己分析について理解する	1 自己分析シート	シートに記入し自己分析する	1	
4	自己分析	障害になるものを特定する	1 障害物シート	シートに記入し障害を特定する	1	
5	自己分析	劣等感になるものを導き出す	1 劣等感シート	シートに記入し劣等を特定する	1	
6	自己分析	ストレスになるものを導き出す	1 ストレスチェック	シートに記入しストレス度合いと原因を特定する	1	
7	自己分析	モチベーションの源を導き出す	1 モチベーションチェック	シートに記入しモチベーションの源を特定する	1	
8	自己改善	コーチング 1	1 目的志向型プログラム	目的志向型プログラムにより自身の傾向を導き出す	1	
9	自己改善	コーチング2	1 問題解決型プログラム	問題解決型プログラムにより自身の傾向を導き出す	1	
10	自己改善	行動変容プログラム実践	1 行動変容プログラム	行動変容プログラムを実践できる	1	
11	自己改善	行動変容プログラム応用	1 行動変容プログラム	行動変容プログラムを応用できる	1	
12	自己改善	モチベーションマネジメント	1 モチベーションマネジメント	自身のモチベーションの傾向と改善を検討する	2	
13	自己開示準備	自己分析シート	1 自己分析シート	シートに記入し、プレゼンができるように準備する	1	
14	自己開示	自己プレゼン	1 プレゼン	自分を周囲にプレゼンできる	2	
15	まとめ	全体のまとめ	1 まとめ	社会人になるための知識と技術を理解できる	2	

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等